

婚姻届

① 令和 ○年○月○日 届出

在シドニー日本国総領事 殿

- ・A3でプリントアウトしてください。
- ・届出はすべて日本語(漢字・ひらがな・カタカナ)で記入してください。
- ・記入は消えない黒いペンをご使用ください。
- ・署名以外の部分はパソコン入力したのもでも受付が可能です。
- ・書き間違えた場合は二重線で訂正していただきます。
- ・修正テープ等のご利用できません。
- ・印鑑は不要です。(押印は任意)

署名 (※押印は任意)		証人	
生年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日

<記入の注意>

- ①届出日 領事館窓口にて提出する場合 → 提出日。
郵送の場合 → ポスト投函日を記入してください。
- ②氏名 フリガナはカタカナ、氏名は戸籍記載の通り、楷書で丁寧に記入してください。
外国人の氏名は、カタカナで記入してください。
※戸籍記載の誤記を防ぐために、小さい「ャ」や「ヨ」などは小さい字体であることがわかるようにはっきりと記入してください。
- ③生年月日 日本人は和暦、外国人は西暦で記入してください。
- ④住所 サバーブ名 ○○ストリート/ロード名 ○○番地 ○○号(←ユニット番号のことで)
- ⑤本籍 現在の戸籍の本籍地と筆頭者氏名を記入してください。
※本籍の表記は「○丁目○番」や「○丁目○番地」のように正確に記入してください。
本籍の表記は住所と異なり、「○○号」や「○○マンション101号」のような部屋番号は入りません。「1-1」のようなハイフン表記も存在しません。
※外国人の場合は国籍を記入してください。
- ⑥父母の氏名 父母が婚姻中の場合は、母欄は名のみ記入してください。
父母が死亡・離婚している場合は、父母ともに氏と名を記入してください。
外国人の場合は、父母ともに氏→名の順にカタカナで記入してください。
- ⑦続き柄 長男、長女は「長」、次男次女は「二」と、漢数字で記入してください。
- ⑧婚姻後の氏 記入不要です。
- ⑨新本籍地 現在の本籍地を記入。又は異なる土地に新本籍地を設ける場合は、本籍地の正確な表記はその自治体しかわかりませんので、自治体の戸籍の担当部署に「その表記で本籍が置けるか」を事前に確認してください。
- ⑩同居を始めたとき 夫妻が同居を始めた年月か、結婚式を挙げた年月のうち早い方の年月を和暦で記入してください。
提出時に同居も結婚式もしていない場合は空欄にしてください。
- ⑪初婚・再婚の別 初婚か再婚(離別・死別)を選択してください。日本人は和暦、外国人は西暦で記入してください。
再婚の場合は前婚姻の終了日(離婚確定日)を確認できる書類も必要となります。
- ⑫世帯の主な仕事 夫妻のそれぞれの世帯で該当する職業を一つ選択し☑をいれてください。
- ⑬職業・産業 空欄にしてください。(国勢調査が行われる年に届出する場合のみ記入となります。)
- ⑭婚姻日 Marriage Certificateに記載の婚姻日を記入してください。
- ⑮署名 窓口にてご署名いただきますので、空欄でお持ちください。
- ⑯連絡先 連絡が取れる電話番号、メールアドレスを記入してください。

(1) 氏名	夫になる人	妻になる人
	ラスト 氏 ②	ファーストミドル 名 乙野 省子
生年月日	③ 2000 ○年○月○日	平成 ○年○月○日
(2) 住所	④ オーストラリア連邦 ニューサウスウェールズ州 サバーブ ○ストリート/ロード○番地○号	オーストラリア連邦 ニューサウスウェールズ州 右に同じ
(3) 本籍	オーストラリア連邦	⑤ 大阪府大阪市中央区谷町二丁目1番地
(4) 婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	筆頭者の氏名	ラスト, ファーストミドル
	父 ⑥ ラスト, ファーストミドル	乙野 慎吾
	母 ラスト, ファーストミドル	長男 愛子
	続き柄	長男 愛子
(5) 同居を始めたとき	⑧	⑨ 大阪府大阪市中央区谷町二丁目1番地
	初婚・再婚の別	初婚 再婚
(7) 同居を始める前の夫婦のそれぞれのおもな仕事	夫	妻
	夫	妻
(8) 夫婦の職業	夫	妻
	夫	妻
その他	届出人署名	妻
	事件簿番号	⑬

窓口にてご署名いただきますので、空欄でお持ちください。
※外国人配偶者の署名は不要です。